

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

No. 3

(11)Publication number : 2003-019027
 (43)Date of publication of application : 21.01.2003

(51)Int.CI. A45D 34/04

(21)Application number : 2001-269612 (71)Applicant : BYUN YOUNG KWANG
 (22)Date of filing : 06.09.2001 (72)Inventor : BYUN YOUNG KWANG

(30)Priority

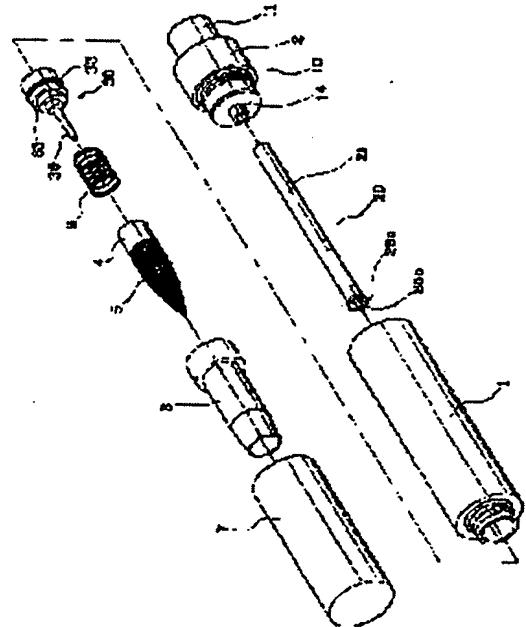
Priority number : 2001 200137380 Priority date : 28.06.2001 Priority country : KR

(54) FOUNDATION JETTING INSTRUMENT AND FOUNDATION FILLING TYPE MAKE-UP TOOL WITH FOUNDATION JETTING INSTRUMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a foundation jetting instrument smoothly discharging foundation for which a manufacture unit price is lowered since the manufacture and assembly of parts constituting a make-up tool are facilitated and mass productivity is improved, and a foundation filling type make-up tool with the jetting instrument.

SOLUTION: The foundation jetting instrument is provided with a pressurizing pump (10) having a push button (11) and a slide pin (13) connected with the push button and moved back and forth; a discharge guide pipe (20) having a push rod (24) moved back and forth by the pressurizing force of the slide pin and a tube (21) surrounding the fringe of the push rod and supporting the push rod; and a jetting nozzle (30) having a nozzle (36) whose flow path is formed on the to-and-fro route of the push rod and an opening/closing tool (34) interposed inside the flow path.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 07.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

[decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開2003-19027(P2003-19027A)
 (43)【公開日】平成15年1月21日(2003. 1. 21)
 (54)【発明の名称】ファンデーション噴射器具及びファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具
 (51)【国際特許分類第7版】

A45D 34/04 525
 540

【FI】

A45D 34/04 525 B
 540

【審査請求】有

【請求項の数】12

【出願形態】OL

【全頁数】13

(21)【出願番号】特願2001-269612(P2001-269612)

(22)【出願日】平成13年9月6日(2001. 9. 6)

(31)【優先権主張番号】2001-37380

(32)【優先日】平成13年6月28日(2001. 6. 28)

(33)【優先権主張国】韓国(KR)

(71)【出願人】

【識別番号】501210641

【氏名又は名称】ヨン クワン ビュン

【住所又は居所】大韓民国、ソウル、ヤンチュンゲ、シンジュンドン 312、モクドンシンシガジアパートメント 928-1005

(72)【発明者】

【氏名】ヨン クワン ビュン

【住所又は居所】大韓民国、ソウル、ヤンチュンゲ、シンジュンドン 312、モクドンシンシガジアパートメント 928-1005

(74)【代理人】

【識別番号】100062199

【弁理士】

【氏名又は名称】志賀 富士弥(外2名)

(57)【要約】

【課題】ファンデーションを円滑に排出することができ、化粧用具を構成する部品の製作及び組立が容易なので製作単価を引き下げることができ、さらに量産性を向上させることができるファンデーション噴射器具及びその噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を提供する。

【解決手段】ファンデーション噴射器具は、プッシュボタン(11)と、プッシュボタンと結合して往復するスライドピン(13)と、を備える加圧ポンプ(10)；スライドピンの加圧力によって往復するプッシュロッド(24)と、プッシュロッドの外郭を取り囲んで前記プッシュロッドを支持するチューブ(21)と、を備える排出誘導管(20)；及び、プッシュロッドの往復経路上に流路が形成されたノズル(36)と、流路内に介在する開閉具(34)と、を備える噴射ノズル(30)；を含む。

【特許請求の範囲】

【請求項1】外部の力によって往復するプッシュボタンと、前記プッシュボタンと結合して往復するスライドピンとを備え、前記プッシュボタンの往復によって前記スライドピンが往復するようにした加圧ポンプ；前記スライドピンの加圧力によって往復するプッシュロッドと、前記プッシュロッドの外郭を取り囲んで前記プッシュロッドを往復可能に支持するチューブとを備え、前記スライドピンからの加圧力を受けてファンデーションを流動させるようにした排出誘導管；及び、前記プッシュロッドの往復経路上に流路が形成されたノズルと、前記流路内に介在する開閉具とを備え、前記プッシュロッドの加圧によって前記開閉具が往復することにより前記流路が開閉され、前記流路の開閉によってファンデーションが排出されるようにした噴射ノズル；を含んでなることを特徴とするファンデーション噴射器具。

【請求項2】前記加圧ポンプは、両端部が開放された筒型後端部と、前記後端部の一側に固定される弁管と、前記後端部の他側に往復可能に設置される前記プッシュボタンと、前記弁管と前記プッシュボタンとの間に介在し、前記プッシュボタンに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュボタンと結合し、前記弁管を通して突出される前記スライドピンとを含み、前記排出誘導管は、前記弁管の貫通部分に固定される、両端部が開放された筒型の前記チューブと、前記チューブ内で前記スライドピンの一方向加圧力によって往復する前記プッシュロッドと、前記プッシュロッドの、前記スライドピン13と接触する端部に結合されるスプリングホルダーと、前記プッシュロッドを前記チューブに往復可能に設置させるガイドブッシュと、前記ガイドブッシュと前記スプリングホルダーとの間に介在し、前記プッシュロッドに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュロッドの端部に結合され、ファンデーションが流入及び流出する複数の流入孔と流出孔が形成されたカバーとを含み、前記噴射ノズルは、前記カバーの往復経路上に位置し、中央部に前記流路が形成された前記ノズルと、前記ノズルの中央部に介在し、前記カバーの加圧によって往復する前記開閉具と、前記ノズルの中央部に介在し、前記開閉具に復元力を提供するスプリングとを含むことを特徴とする請求項1記載のファンデーション噴射器具。

【請求項3】前記排出誘導管は、前記プッシュロッドの外周に前記チューブの内周面と密着するゴムが設置され、前記プッシュロッドの往復によって前記チューブ内部に流入したファンデーションを流動させ、前記加圧ポンプへの流入を遮断するようにしたことを特徴とする請求項2記載のファンデーション噴射器具。

【請求項4】ファンデーションが充填される母体と、前記母体の先端部に設置されるファンデーション化粧用塗布具と、前記母体の後端部に設置され、前記ファンデーションを前記塗布具に排出させるファンデーション噴射器具とを含む通常のファンデーション充填式化粧用具において、前記ファンデーション噴射器具は、外部の力によって往復するプッシュボタンと、前記プッシュボタンと結合して往復するスライドピンとを備え、前記プッシュボタンの往復によって前記スライドピンが往復するようにした加圧ポンプ；前記スライドピンの加圧力によって往復するプッシュロッドと、前記プッシュロッドの外郭を取り囲んで前記プッシュロッドを往復可能に支持するチューブとを備え、前記スライドピンからの加圧力を受け、前記母体内に充填されたファンデーションを流動させるようにした排出誘導管；及び、前記プッシュロッドの往復経路上に流路が形成されたノズルと、前記流路内に介在する開閉具とを備え、前記プッシュロッドの加圧によって前記開閉具が往復することにより前記流路が開閉され、前記流路の開閉によってファンデーションが排出されるようにした噴射ノズル；を備えたことを特徴とするファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項5】前記加圧ポンプは、前記後端部の一側に固定される弁管と、前記後端部の他側に往復可能に設置される前記プッシュボタンと、前記弁管と前記プッシュボタンとの間に介在し、前記プッシュボタンに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュボタンと結合し、前記弁管を通して突出される前記スライドピンとを含み、前記排出誘導管は、前記弁管の貫通部分に固定される、両端部が開放された筒型の前記チューブと、前記チューブ内で前記スライドピンの一方向加圧力によって往復する前記プッシュロッドと、前記プッシュロッドの、前記スライドピンと接触する端部に結合されるスプリングホルダーと、前記プッシュロッドを前記チューブに往復可能に設置させるガイドブッシュと、前記ガイドブッシュと前記スプリングホルダーとの間に介在し、前記プッシュロッドに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュロッドの端部に結合され、ファンデーションが流入及び流出する複数の流入孔と流出孔が形成されたカバーとを含み、前記噴射ノズルは、前記先端部に往復可能に設置され、中央部に流路が形成された前記ノズルと、前記先端部と前記ノズルとの間に介在し、前記ノズルに復元力を提供するスプリングと、前記ノズルの流路に介在し、前記カバーの加圧によって往復する前記開閉具と、前記ノズルの流路に介在し、前記開閉具に復元力を提供するスプリングとを含むことを特徴とするファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項6】前記排出誘導管は、前記プッシュロッドの外周に前記チューブの内周面と密着するゴムが設置され、前記プッシュロッドの往復によって前記チューブ内部に流入したファンデーションを流

動させる一方、前記加圧ポンプへの流入を遮断するようにしたことを特徴とする請求項5記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項7】前記噴射ノズルは、前記ノズルの外周に前記先端部の内周面と密着するゴムが設置され、前記ノズルと前記先端部との間に入り込んだファンデーションが外部に排出されることを防止するようにしたことを特徴とする請求項5記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

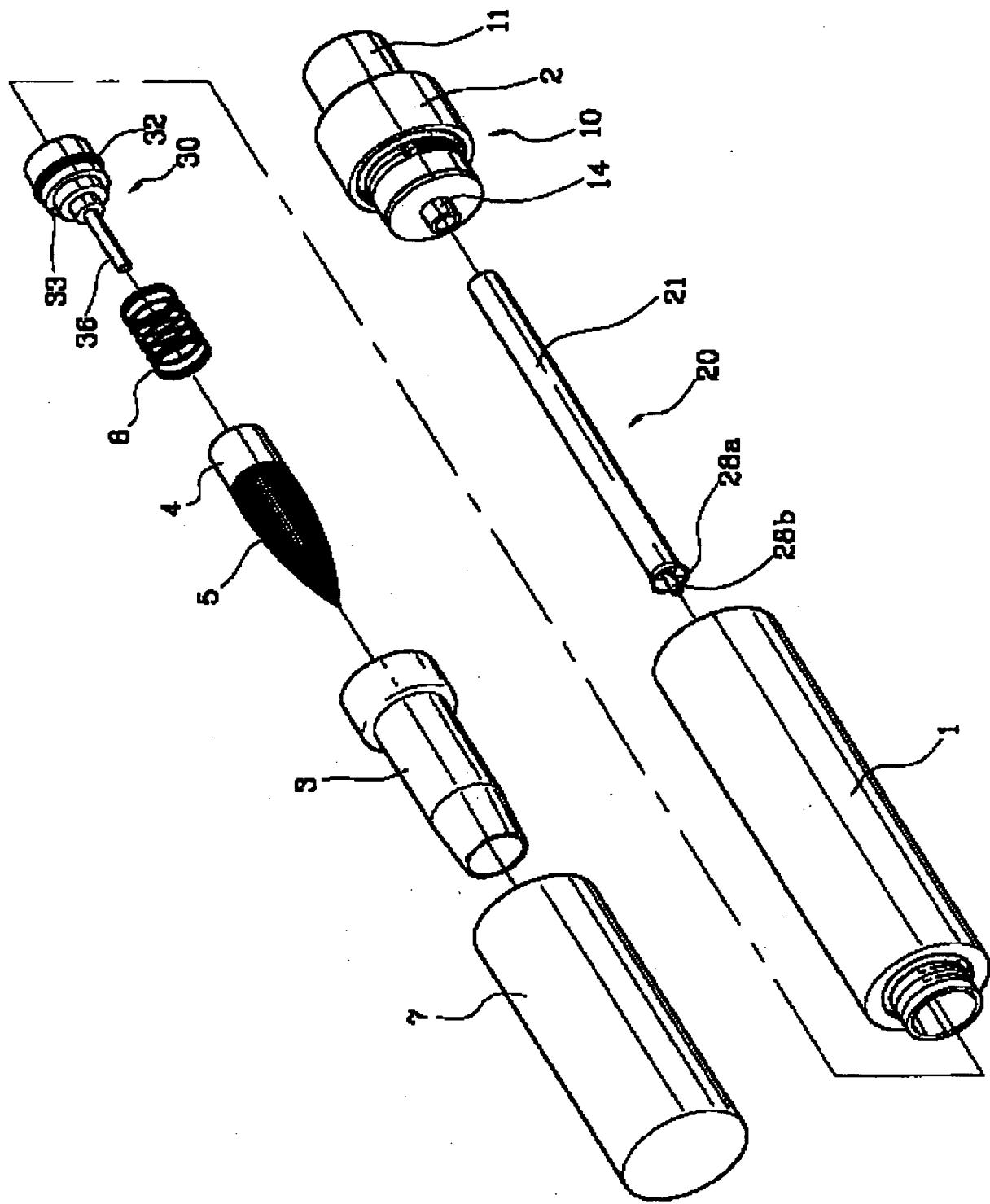
【請求項8】前記先端部は前記母体と分離されて相互螺合され、前記塗布具は前記ノズルの往復動作のために貫通中央部を持つホルダーによって前記先端部に結合されたことを特徴とする請求項4記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項9】前記先端部は、前記母体の端部に結合され、外部面に突起が形成された案内筒；前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記案内筒に沿って昇降できるよう、前記突起と嵌合する螺旋溝が形成され、外周面には昇降顎が形成された昇降ホルダー；前記昇降ホルダーの外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記昇降ホルダーを前記昇降顎を介して昇降させるための昇降溝が形成された昇降案内具；及び、前記昇降ホルダーの一側に固定されるファンデーション化粧用補助塗布具；を含み、前記塗布具は、前記ノズルの往復動作のために貫通中央部を持つホルダーによって前記案内筒の端部に結合されたことを特徴とする請求項4記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項10】前記先端部は、前記母体の端部に結合され、外部面に突起が形成された案内筒；前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記案内筒に沿って昇降できるよう、前記突起と嵌合する螺旋溝が形成され、外周面には昇降顎が形成された昇降ホルダー；前記昇降ホルダーの外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には昇降ホルダーを昇降顎を介して昇降させるための昇降溝が形成された昇降案内具；及び、前記昇降ホルダーの一側に固定される前記塗布具；を含み、前記案内筒の中央部は貫通し、その貫通中央部の一側にはボールが介在し、前記ボールの回転によって、前記母体内に充填されたファンデーションが排出されるようにしたことを特徴とする請求項4記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項11】前記先端部は、前記母体の端部に結合される案内筒と、前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には螺旋溝が形成された昇降案内具と、前記螺旋溝と嵌合する突起が外周面に形成され、前記昇降案内具の回転により昇降する昇降弁管と、前記昇降案内具の一側に固定される固定ホルダーと、前記固定ホルダーに固定される化粧用補助塗布具とを含み、前記塗布具は、昇降弁管の端部に結合され昇降することを特徴とする請求項4記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。

【請求項12】前記先端部は、前記母体の端部に結合される案内筒と、前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には螺旋溝が形成された昇降案内具と、前記螺旋溝と嵌合する突起が外周面に形成され、前記昇降案内具の回転により昇降する昇降弁管と、前記昇降案内具の一側に固定される固定ホルダーと、前記固定ホルダーに固定される化粧用補助塗布具とを含み、前記塗布具は、昇降弁管の端部に回転可能に結合され昇降するボールであることを特徴とする請求項4記載のファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具。



詳細な説明

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はファンデーション充填式化粧用具に係り、より詳しくは液体(リキッド)タイプのファンデーションと、そのファンデーションを塗るのに使用する化粧用具をコンパクトに一体化した化粧用具において、母体内に充填されたファンデーションを円滑に排出することができ、化粧用具を構成する部品の製作及び組立が容易なので製作単価を引き下げることができ、さらに量産性を向上させることができるようにしたファンデーション噴射器具及びその噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具に関する。

【0002】

【従来の技術】液体(リキッド)タイプのファンデーションと化粧用具が一体化されたファンデーション充填式化粧用具は特許出願第2001-19957号にその関連技術が提示されており、そのうち、ファンデーションを排出させるファンデーション噴射器具は、母体内に充填されたファンデーションの使用量を適切に調節できるようにファンデーションの排出経路を提供する排出弁と、ファンデーションを噴射させる加圧ポンプとを備え、圧縮された空気の噴射によってファンデーションを排出させる構造になっている。

【0003】前記排出弁はファンデーションの排出経路を提供する一方、一方向排出構造を有しているので、化粧時にのみファンデーションの排出が行われるようになっており、前記加圧ポンプは、母体内に充填されたファンデーションを排出弁が位置した方向に噴射させるために空気を圧縮させる構造を有している。

【0004】ところが、かかるファンデーション噴射構造においては、基本的に母体内に充填されたファンデーションが意図しない状況で外部へ排出されるのを防止するために、排出弁と加圧ポンプはそれぞれ気密性を維持しているが、排出弁と加圧ポンプを構成する各部品は組立時の精密度の差異によって隙間が形成されやすいので、部品の数が増加すればするほど不良率が増加するという問題点があった。

【0005】そして、このような所要部品の増加は製作コストの増加と製作時間の増加を招くので、結果として製作単価が上がり、量産性が低下するという問題点があった。

【0006】一方、前記加圧ポンプの場合にはスプリングと開閉具を用いた一方向噴射構造が提示され、空気が圧縮される内部空間へのファンデーションの流入を防止するようになっているが、これもまた部品の製作及び組立にコストと時間が多くかかるという問題があり、また一方、スプリングによって支持された開閉具が空気が噴射される入口を正面遮断する構造になっているので、圧縮された空気の圧力損失のため、加圧ポンプの機能が十分発揮できないという問題点があった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、ファンデーションと化粧用具が一体化されたファンデーション充填式化粧用具において、ファンデーションを円滑に排出することができ、化粧用具を構成する部品の製作及び組立が容易なので製作単価を引き下げることができ、さらに量産性を向上させることができるようにしたファンデーション噴射器具及びその噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するための本発明に係るファンデーション噴射器具は、外部の力によって往復するプッシュボタンと、前記プッシュボタンと結合して往復するスライドピンとを備え、前記プッシュボタンの往復によって前記スライドピンが往復するようにした加圧ポンプ；前記スライドピンの加圧力によって往復するプッシュロッドと、前記プッシュロッドの外郭を取り囲んで前記プッシュロッドを往復可能に支持するチューブとを備え、前記スライドピンからの加圧力を受けてファンデーションを流動させるようにした排出誘導管；及び、前記プッシュロッドの往復経路上に流路が形成されたノズルと、前記流路内に介在する開閉具とを備え、前記プッシュロッドの加圧によって前記開閉具が往復することにより前記流路が開閉され、前記流路の開閉によってファンデーションが排出されるようにした噴射ノズル；を含んでなることを特徴とする。

【0009】前記加圧ポンプは、両端部が開放された筒型の後端部と、前記後端部の一側に固定される弁管と、前記後端部の他側に往復可能に設置される前記プッシュボタンと、前記弁管と前記プッシュボタンとの間に介在し、前記プッシュボタンに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュボタンと結合し、前記弁管を通して突出される前記スライドピンとを含み、前記排出誘導管は、前記弁管の貫通部分に固定される、両端部が開放された筒型の前記チューブと、前記チューブ内で前記スライドピンの一方向加圧力によって往復する前記プッシュロッドと、前記プッシュロッドの、前記スライ

ピンと接触する端部に結合されるスプリングホルダーと、前記プッシュロッドを前記チューブに往復可能に設置させるガイドブッシュと、前記ガイドブッシュと前記スプリングホルダーとの間に介在し、前記プッシュロッドに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュロッドの端部に結合され、ファンデーションが流入及び流出する複数の流入孔と流出孔が形成されたカバーとを含み、前記噴射ノズルは、前記カバーの往復経路上に位置し、中央部に前記流路が形成された前記ノズルと、前記ノズルの中央部に介在し、前記カバーの加圧によって往復する前記開閉具と、前記ノズルの中央部に介在し、前記開閉具に復元力を提供するスプリングとを含むことを特徴とする。

【0010】前記排出誘導管は、前記プッシュロッドの外周に前記チューブの内周面と密着するゴムが設置され、前記プッシュロッドの往復によって前記チューブ内部に流入したファンデーションを流動させ、前記加圧ポンプへの流入を遮断できるようにすることが望ましい。

【0011】一方、本発明に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具は、ファンデーションが充填される母体と、前記母体の先端部に設置されるファンデーション化粧用塗布具と、前記母体の後端部に設置され、前記ファンデーションを前記塗布具に排出させるファンデーション噴射器具とを含む通常のファンデーション充填式化粧用具において、前記ファンデーション噴射器具は、外部の力によって往復するプッシュボタンと、前記プッシュボタンと結合して往復するスライドピンとを備え、前記プッシュボタンの往復によって前記スライドピンが往復するようにした加圧ポンプ；前記スライドピンの加圧力によって往復するプッシュロッドと、前記プッシュロッドの外郭を取り囲んで前記プッシュロッドを往復可能に支持するチューブとを備え、前記スライドピンからの加圧力を受け、前記母体内に充填されたファンデーションを流動させるようにした排出誘導管；及び、前記プッシュロッドの往復経路上に流路が形成されたノズルと、前記流路内に介在する開閉具とを備え、前記プッシュロッドの加圧によって前記開閉具が往復することにより前記流路が開閉され、前記流路の開閉によってファンデーションが排出されるようにした噴射ノズル；を含んでなることを特徴とする。

【0012】前記加圧ポンプは、前記後端部の一側に固定される弁管と、前記後端部の他側に往復可能に設置される前記プッシュボタンと、前記弁管と前記プッシュボタンとの間に介在し、前記プッシュボタンに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュボタンと結合し、前記弁管を通して突出される前記スライドピンとを含み、前記排出誘導管は、前記弁管の貫通部分に固定される、両端部が開放された筒型の前記チューブと、前記チューブ内で前記スライドピンの一方向加圧力によって往復する前記プッシュロッドと、前記プッシュロッドの、前記スライドピンと接触する端部に結合されるスプリングホルダーと、前記プッシュロッドを前記チューブに往復可能に設置させるガイドブッシュと、前記ガイドブッシュと前記スプリングホルダーとの間に介在し、前記プッシュロッドに復元力を提供するスプリングと、前記プッシュロッドの端部に結合され、ファンデーションが流入及び流出する複数の流入孔と流出孔が形成されたカバーとを含み、前記噴射ノズルは、前記先端部に往復可能に設置され、中央部に流路が形成された前記ノズルと、前記先端部と前記ノズルとの間に介在し、前記ノズルに復元力を提供するスプリングと、前記ノズルの流路に介在し、前記カバーの加圧によって往復する前記開閉具と、前記ノズルの流路に介在し、前記開閉具に復元力を提供するスプリングとを含むことを特徴とする。

【0013】前記排出誘導管は、前記プッシュロッドの外周に前記チューブの内周面と密着するゴムが設置され、前記プッシュロッドの往復によって前記チューブ内部に流入したファンデーションを流動させる一方、前記加圧ポンプへの流入を遮断できるようにすることが望ましい。

【0014】前記噴射ノズルは、前記ノズルの外周に前記先端部の内周面と密着するゴムが設置され、前記ノズルと前記先端部との間に入り込んだファンデーションが外部に排出されることを防止できるようにすることが望ましい。

【0015】一方、前記先端部は前記母体と分離されて相互螺合され、前記塗布具は前記ノズルの往復動作のために貫通中央部を持つホルダーによって前記先端部に結合されることができる。

【0016】また一方、前記先端部は、前記母体の端部に結合され、外部面に突起が形成された案内筒；前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記案内筒に沿って昇降できるように、前記突起と嵌合する螺旋溝が形成され、外周面には昇降頸が形成された昇降ホルダー；前記昇降ホルダーの外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記昇降ホルダーを前記昇降頸を介して昇降させるための昇降溝が形成された昇降案内具；及び、前記昇降ホルダーの一側に固定されるファンデーション化粧用補助塗布具；を含み、前記塗布具は、前記ノズルの往復動作のために貫通中央部を持つホルダーによって前記案内筒の端部に結合されることがある。

【0017】またさらに一方、前記先端部は、前記母体の端部に結合され、外部面に突起が形成された案内筒；前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には前記案内筒に沿って

昇降できるように、前記突起と嵌合する螺旋溝が形成され、外周面には昇降顎が形成された昇降ホルダー；前記昇降ホルダーの外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には昇降ホルダーを昇降顎を介して昇降させるための昇降溝が形成された昇降案内具；及び、前記昇降ホルダーの一側に固定される前記塗布具；を含み、前記案内筒の中央部は貫通し、その貫通中央部の一側にはボールが介在し、前記ボールの回転によって、前記母体内に充填されたファンデーションが排出されることもできる。

【0018】前記先端部は、前記母体の端部に結合される案内筒と、前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には螺旋溝が形成された昇降案内具と、前記螺旋溝と嵌合する突起が外周面に形成され、前記昇降案内具の回転により昇降する昇降弁管と、前記昇降案内具の一側に固定される固定ホルダーと、前記固定ホルダーに固定される化粧用補助塗布具とを含み、前記塗布具は、昇降弁管の端部に結合され昇降するようにすることもできる。

【0019】前記先端部は、前記母体の端部に結合される案内筒と、前記案内筒の外周を取り囲んで回動可能に結合され、内周面には螺旋溝が形成された昇降案内具と、前記螺旋溝と嵌合する突起が外周面に形成され、前記昇降案内具の回転により昇降する昇降弁管と、前記昇降案内具の一側に固定される固定ホルダーと、前記固定ホルダーに固定される化粧用補助塗布具とを含み、前記塗布具は、昇降弁管の端部に回転可能に結合され昇降するボールであることもできる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の具体的な実施例を添付面を参照して詳細に説明する。

【0021】本発明に係るファンデーション噴射器具は、プッシュボタン11の往復によってスライドピン13の一方向加圧力を発生させる加圧ポンプ10と、加圧ポンプ10の加圧力を受けてファンデーションを流動させる排出誘導管20と、排出誘導管20の加圧による開閉具の往復によってノズル36の中央部が開閉され、ファンデーションを排出させる噴射ノズル30とを含んでなる。

【0022】一方、本発明に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具は、ファンデーションが充填される母体1と、母体1の先端部3に設置されるファンデーション化粧用塗布具と、母体1の後端部に設置され、ファンデーションを塗布具に排出させる本発明に係るファンデーション噴射器具とを含んでなる。

【0023】以下、重複説明を避けるために、本発明に係る噴射器具は本発明に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を説明しながら共に説明する。

【0024】図1は本発明の第1実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す分解斜視図であり、図2は図1に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図である。

【0025】本発明の第1実施例に係るファンデーション充填式化粧用具は母体1、塗布具及びファンデーション噴射器具を含む。

【0026】母体1は液体(リキッド)タイプのファンデーションが充填されるもので、両端部が開放された筒型になっている。

【0027】塗布具は母体1の先端部3に設置され、母体1の外部に排出されたファンデーションを顔に塗るのに使用されるもので、塗布具としては図1及び図2に示すように柔らかい纖毛の束からなるブラシ5があり、または場合によっては通常ファンデーション化粧時に使用されるスポンジがある。塗布具は図2に示すようにホルダー4によって先端部3に結合する。

【0028】そして、本発明の第1実施例における先端部3は分解・組立を容易にするために母体1と分離されて相互螺合できるようになっている。

【0029】一方、ファンデーション噴射器具は加圧ポンプ10、排出誘導管20及び噴射ノズル30を含む。

【0030】加圧ポンプ10は後述の噴射ノズル30の開閉具34を開閉させるための加圧力を外部から伝達するもので、弁管14、プッシュボタン11、スプリング12及びスライドピン13を含む。

【0031】弁管14は後端部2の一側に固定され、スライドピン13が外部に突出できるようにその中央部が貫通している。

【0032】プッシュボタン11は後端部2の他側に往復可能に設置され、弁管14と共に後端部2の開放された両端部を密閉させる。

【0033】スプリング12は弁管14とプッシュボタン11との間に介在し、プッシュボタン11に復元力を提供する。即ち、プッシュボタン11は外部の力によって加圧されて弁管14が位置した方向に前進してもスプリング12によって元位置に復元されるので、外部の一方向加圧力のみで往復することができる。

【0034】スライドピン13は後述のプッシュロッド24を往復させるためのもので、プッシュボタン11と結合され、弁管14の貫通中央部を往復する。

【0035】要するに、加圧ポンプ10はスライドピン13と、スライドピン13を往復させる諸般構成とを組み合せたもので、排出誘導管20に一方向加圧力を提供する。

【0036】勿論、本発明において、加圧ポンプ10はプッシュロッド24をより確実に往復させるためにスライドピンを往復させる構造をなしているが、副次的にプッシュボタン11にはその後端部の内周に密着するゴム(図示せず)が結合され、スライドピンの加圧力と同時に後端部内の圧縮された空気の圧力を排出誘導管に伝達させるように構成される。

【0037】次に、排出誘導管20は加圧ポンプ10からの往復駆動力を受けて後述の開閉具34を開閉させ、母体10内に充填されたファンデーションを外部に排出するもので、チューブ21、プッシュロッド24、スプリングホルダー22、ガイドブッシュ25、スプリング23及びカバー28を含む。

【0038】チューブ21は弁管14の貫通部分に固定されるもので、排出誘導管20の外観をなしており、両端部が開放筒型になっている。

【0039】プッシュロッド24はチューブ21内でスライドピン13からの一方向加圧力を受けて往復するもので、後述の噴射ノズル30の開閉具34を往復させる。

【0040】スプリングホルダー22はプッシュロッド24の、スライドピン13と接触する端部に結合され、スプリング23の離脱防止及び、プッシュロッド24とスライドピン13との接触部位を補強する機能を担当する。

【0041】ガイドブッシュ25はプッシュロッド24をチューブ21に往復可能に設置させる。

【0042】スプリング23はガイドブッシュ25とスプリングホルダー22との間に介在してプッシュロッド24に復元力を提供する。即ち、プッシュロッド24はスライドピン13からの一方向圧力を受けて前進してもスプリング23の復元力によって元位置に復元される方式を用いて往復する。

【0043】カバー28はプッシュロッド24の端部に結合され、噴射ノズル30の開閉具と直接的に接触するもので、中央部は貫通しており、母体1内に充填されたファンデーションの流入及び流出を可能とする複数の流入孔28a及び流出孔28bが形成される。

【0044】要するに、排出誘導管20はプッシュロッド24、プッシュロッド24を往復させる諸般構成、そして母体1内に充填されたファンデーションを噴射ノズルに流入させるカバー28、を用いてファンデーションを排出させる機能を担当する。

【0045】一方、噴射ノズル30は母体1内に充填されたファンデーションを外部に排出させる排出口の役割をするもので、ノズル36、スプリング6、開閉具34及びスプリング35を含む。

【0046】ノズル36は噴射ノズル30のボディを構成するもので、先端部3に往復可能に設置され、その中央部に形成された流路37を介してファンデーションの排出経路を提供する。

【0047】スプリング6は先端部3とノズル36との間に介在してノズル36に復元力を提供する。即ち、ノズル36は、プッシュロッド24の前進によって加圧されると、開閉具34が一定距離前進することになり、統いてプッシュロッド24と共に前進し、その後スプリング6の復元力によって元位置に復元される。

【0048】開閉具34はノズル36の流路に介在してカバー28の加圧によって往復するもので、噴射ノズル30は前記開閉具34の往復によってファンデーションを排出させる。

【0049】スプリング35はノズル36の流路37に介在して開閉具34を弾性支持する。即ち、開閉具34はカバー28の加圧によって前進されてもスプリング35の復元力によって元位置に復元される。

【0050】勿論、スプリング35はスプリングホルダー31によってノズル36の流路37から離脱不能状態になっている。

【0051】要するに、噴射ノズル30はプッシュロッド24からの加圧力を受け、母体1内に充填されたファンデーションが排出される経路を案内する。

【0052】以下、本発明の第1実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具の作動状態を説明すると、ファンデーションを顔に塗るために母体1内に充填されたファンデーションを排出させるためには、本発明に係るファンデーション噴射器具を用いて必要な量だけのファンデーションを塗布具5に噴射させる必要があり、そのファンデーションを作動させるためにはプッシュボタン11を一方向に加圧させる必要がある。

【0053】即ち、プッシュボタン11を加圧するとスライドピン13が前進し、スライドピン13が前進するとプッシュロッド24が前進し、プッシュロッド24が前進するとカバー28が前進して開閉具34が前進し、開閉具34が一定距離前進してからノズル36も前進することになる。結局、ファンデーションはノズル36の端部が塗布具5の奥深い部位まで露出した状態で排出できるようになり、ユーザは塗布具5を皮膚にこする方法によってファンデーションを顔に塗る。

【0054】逆に、プッシュボタン11を加圧する外部からの力が除去されると、ノズル36、開閉具34、プッシュロッド24及びプッシュボタン11はそれぞれのスプリング(6, 35, 23, 12)によって元位置に復帰する。

【0055】この時、注目されていることは、母体1の内に充填されたファンデーションの排出経路である。ファンデーションは最初母体1内に充填された状態から流入孔28aを通してカバー28の内部へ入り込んだ状態になり、この時、プッシュボタン11を押して開閉具34をカバー28の端部に前進させると、カバー20内に入り込んだファンデーションは流出孔28bを通してノズル36の流路37から抜け出ることになる。勿論、逆に、プッシュボタン11を加圧する外部の力が除去され、カバー28が後退すると、流出孔28bはスプリングホルダー31によって閉鎖状態になるので、意図しない状況でファンデーションが排出されるおそれはない。

【0056】一方、本発明において、排出誘導管20をなす副次的な構成について加えて説明すると、プッシュロッド24の外周に、チューブ21の内周面と密着するゴム27が設置され、チューブ21の内部まで入り込んだ液体ファンデーションをノズル36の流路まで流入させる。ゴム27はゴムホルダー26によって固定され、結局、排出誘導管20はゴム27のポンピング作用を用いてより円滑なファンデーション排出機能を行う。

【0057】これと同様に、本発明において、噴射ノズル30をなす副次的な構成について加えて説明すると、ノズル36の外周に、先端部3の内周面と密着するゴム32が設置され、たとえノズル36と先端部3との間にファンデーションが入り込んだとしても気密性を維持できるので外部への流出を防止することができる。勿論、ゴム32はゴムホルダー33によって固定される。

【0058】図3は本発明の第2実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す分解斜視図であり、図4及び図5は図3に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図である。図4は昇降ホルダーが上昇した状態を、図5は昇降ホルダーが下降した状態をそれぞれ示す図である。

【0059】一方、本発明の第2実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具は第1実施例とは多少異なる構造を備えている。

【0060】即ち、ファンデーションが充填される空間を提供する母体1と、母体1内に充填されたファンデーションを噴射させるファンデーション噴射器具は互いに類似した構造になっているが、母体1の先端部は第1実施例とは異なる構造になっている。

【0061】本発明の第2実施例においては、ファンデーションを顔に塗るために使用される塗布具の他に、昇降ホルダーを用いて昇降する補助塗布具を使用できることにより、たとえ非常に濃い濃度のため化粧しにくい液体ファウンデーションであるとしても、2種類の塗布具を用いて容易に化粧をすることがで

図の説明

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す分解斜視図である。

【図2】図1に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図である。

【図3】本発明の第2実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す分解斜視図である。

【図4】図3に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図で、昇降ホルダーが上昇した状態を示す。

【図5】図3に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図で、昇降ホルダーが下降した状態を示す。

【図6】図3乃至図5に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具の変形例を示す断面図である。

【図7】図3乃至図5に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具の変形例を示す断面図である。

【図8】本発明の第3実施例に係るファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す分解斜視図である。

【図9】図6に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図で、昇降ホルダーが上昇した状態を示す。

【図10】図6に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具を示す断面図で、昇降ホルダーが下降した状態を示す。

【図11】図8乃至図10に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具の変形例を示す断面図である。

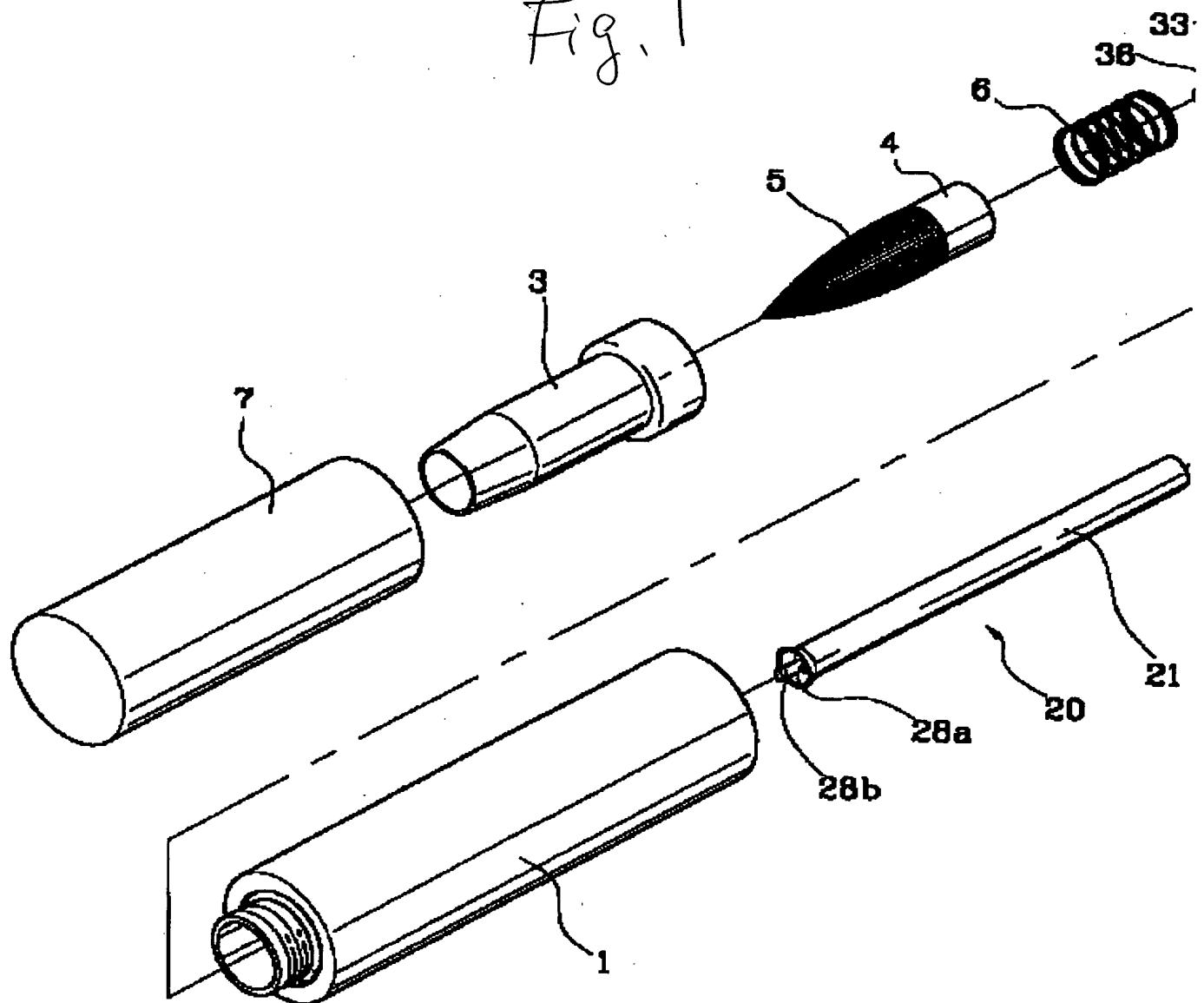
【図12】図8乃至図10に示したファンデーション噴射器具付きファンデーション充填式化粧用具の変形例を示す断面図である。

【符号の説明】

- 1…母体
- 2…後端部
- 3, 40…先端部
- 4, 45…ホルダー
- 5, 9, 44…ブラシ
- 6, 12, 23, 35, 52, 54…スプリング
- 7, 8, 57…保護キャップ
- 10…加圧ポンプ
- 11…プッシュボタン
- 13…スライドピン
- 14…弁管
- 20…排出誘導管
- 21…チューブ
- 22, 31, 56…スプリングホルダー
- 24…プッシュロッド
- 25…ガイドブッシュ
- 26, 33…ゴムホルダー
- 27, 32…ゴム
- 28…カバー
- 28a…流入孔
- 28b…流出孔
- 30…噴射ノズル
- 32…ゴム
- 33…ゴムホルダー
- 34, 55…開閉具
- 36…ノズル
- 37…流路

41…案内筒
41a, 63, 74…突起
42…昇降ホルダー
42a, 62, 75…螺旋溝
42b…昇降頸
43…昇降案内具
43a, 62, 75…昇降溝
44…ブラシ
50…ボール
51a…ホール
51b, 53a…管路
53…弁管
61, 76…昇降弁管
64, 73…固定ホルダー
65, 72…管
67, 71…スリーブ

Fig. 1



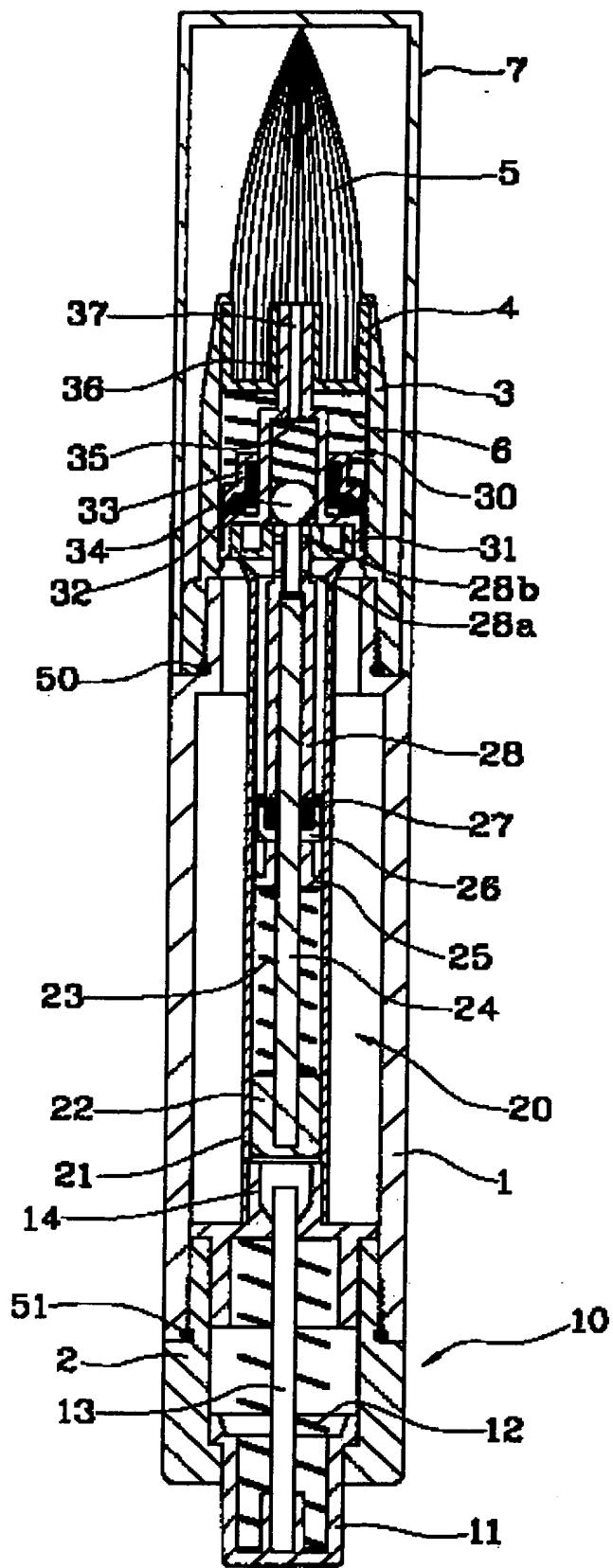


Fig. 2

図面選択 図3

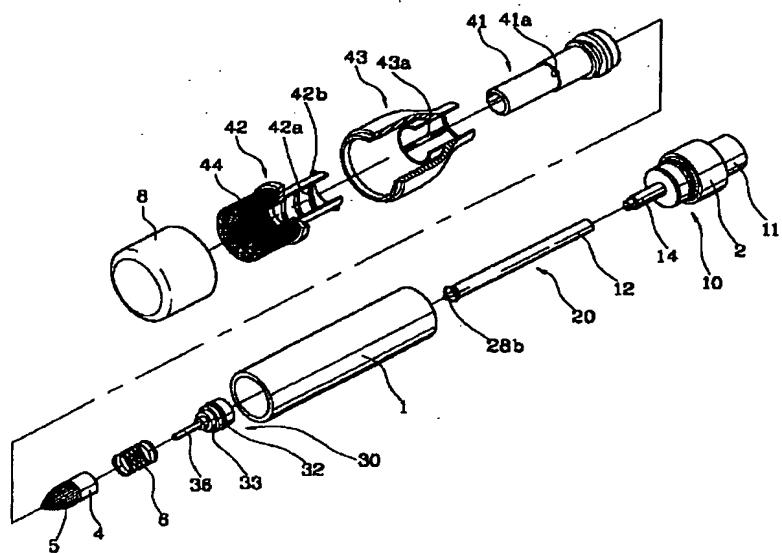


Fig. 3

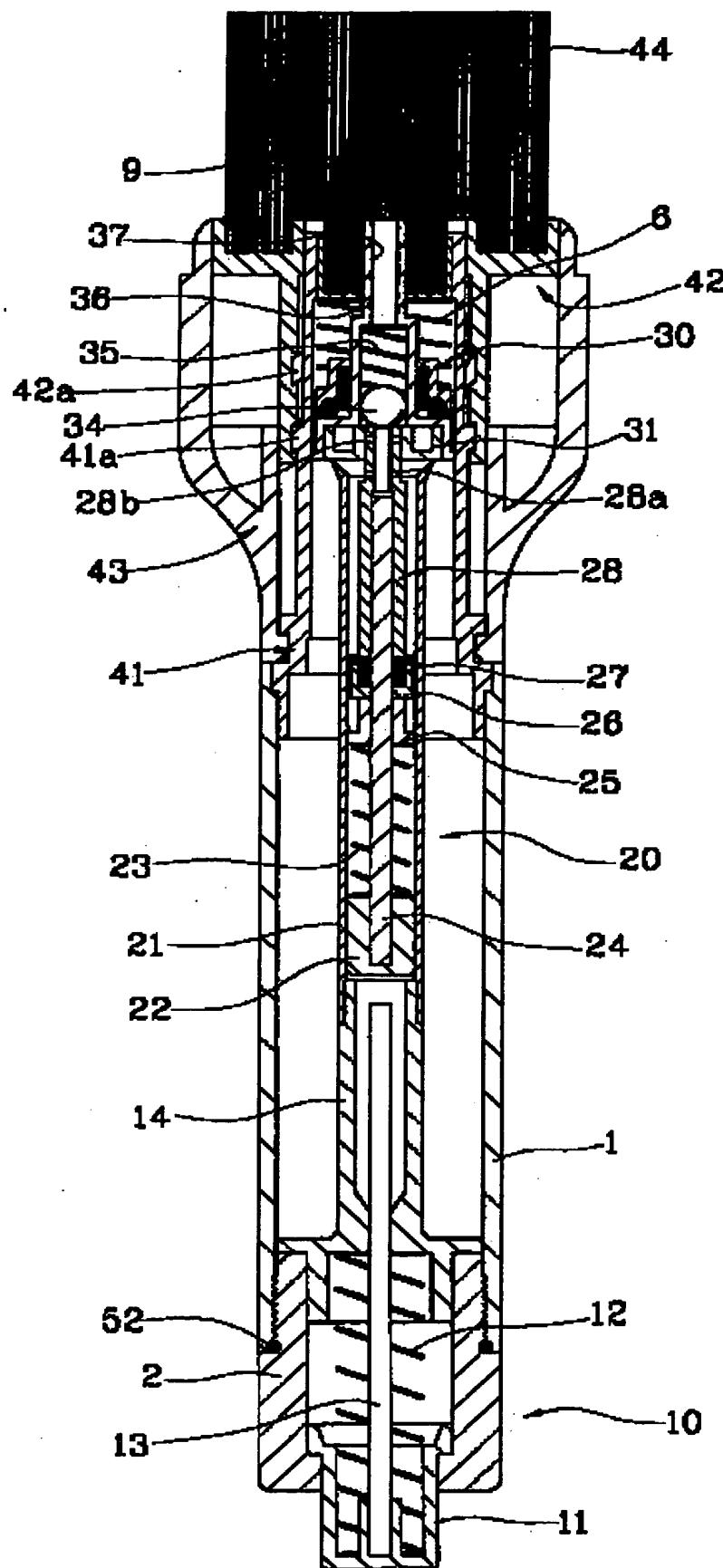


Fig. 4

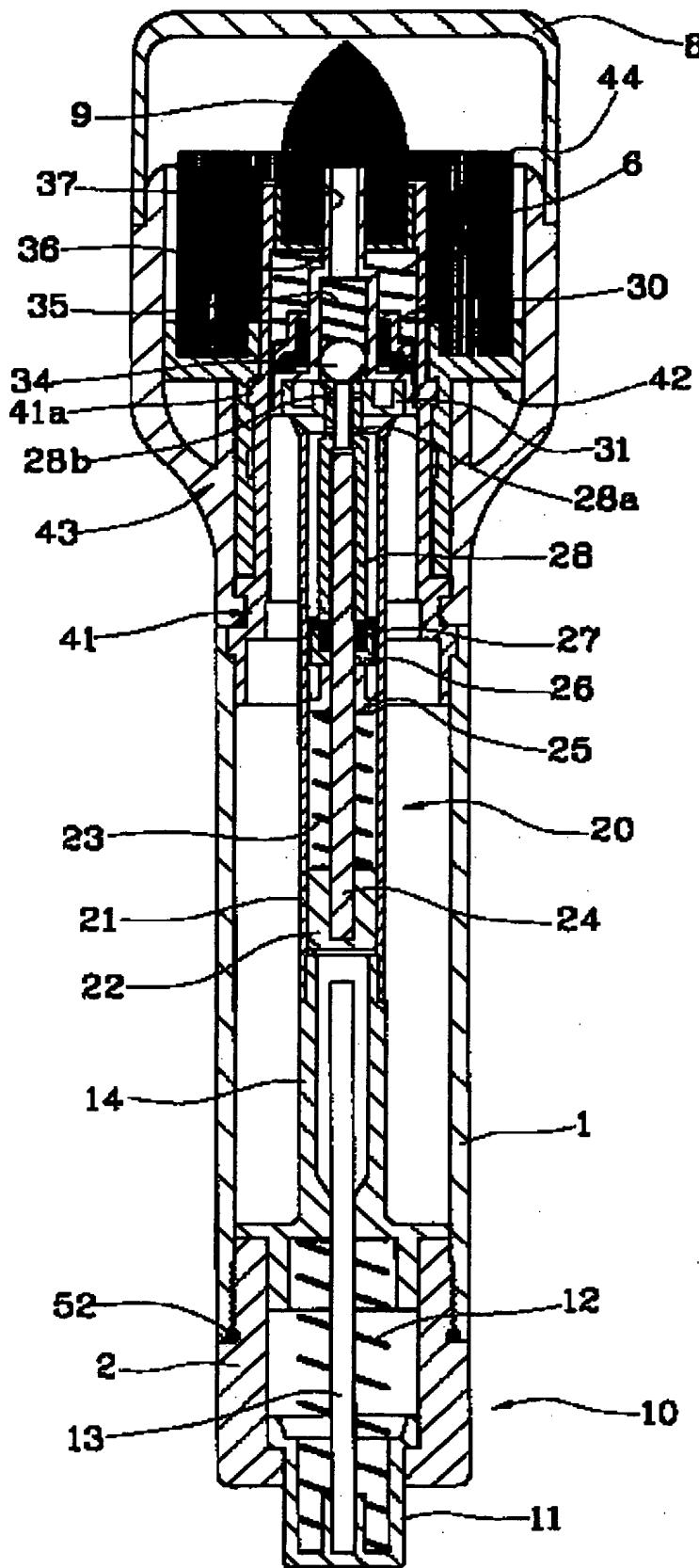


Fig. 5

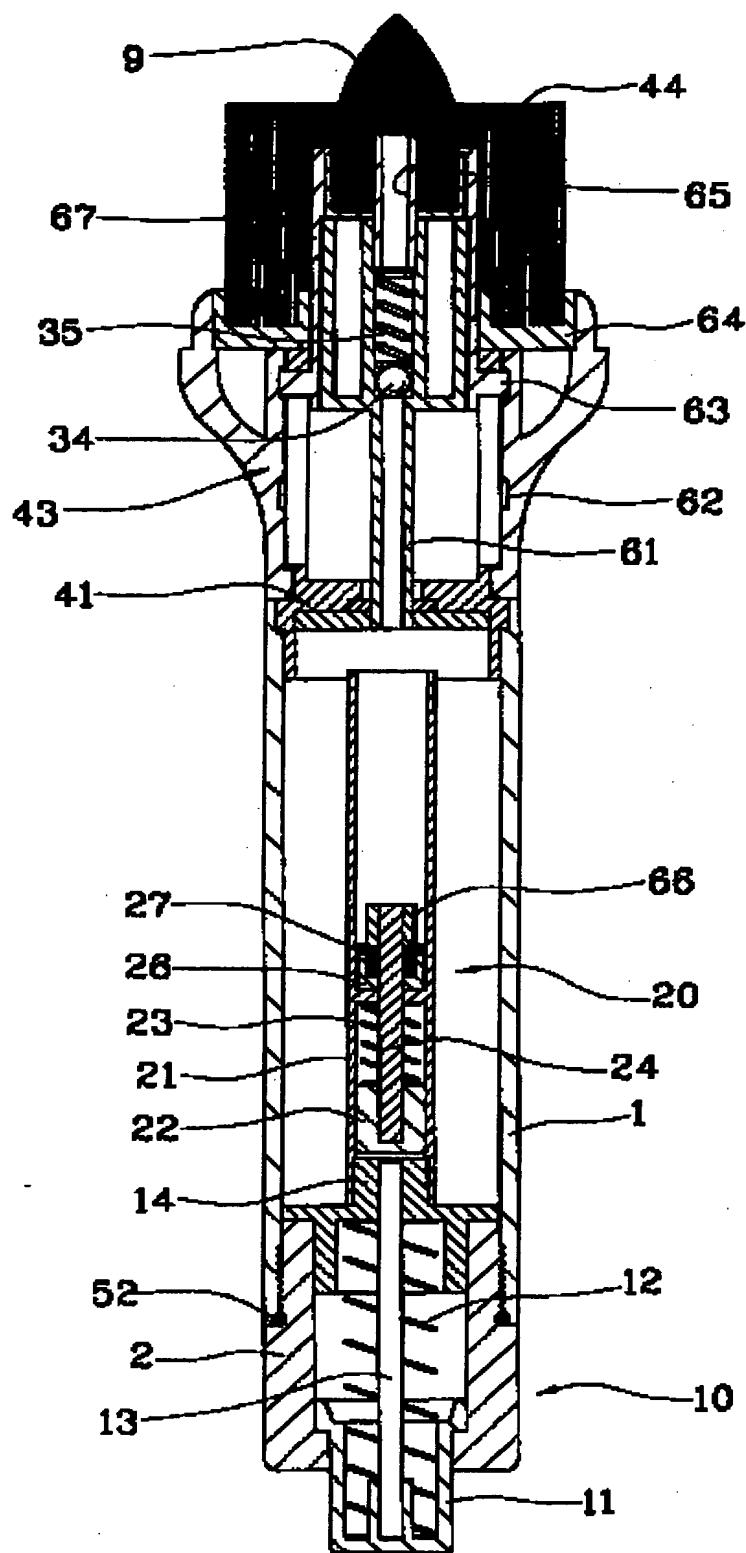


Fig. 6

Fig. 7

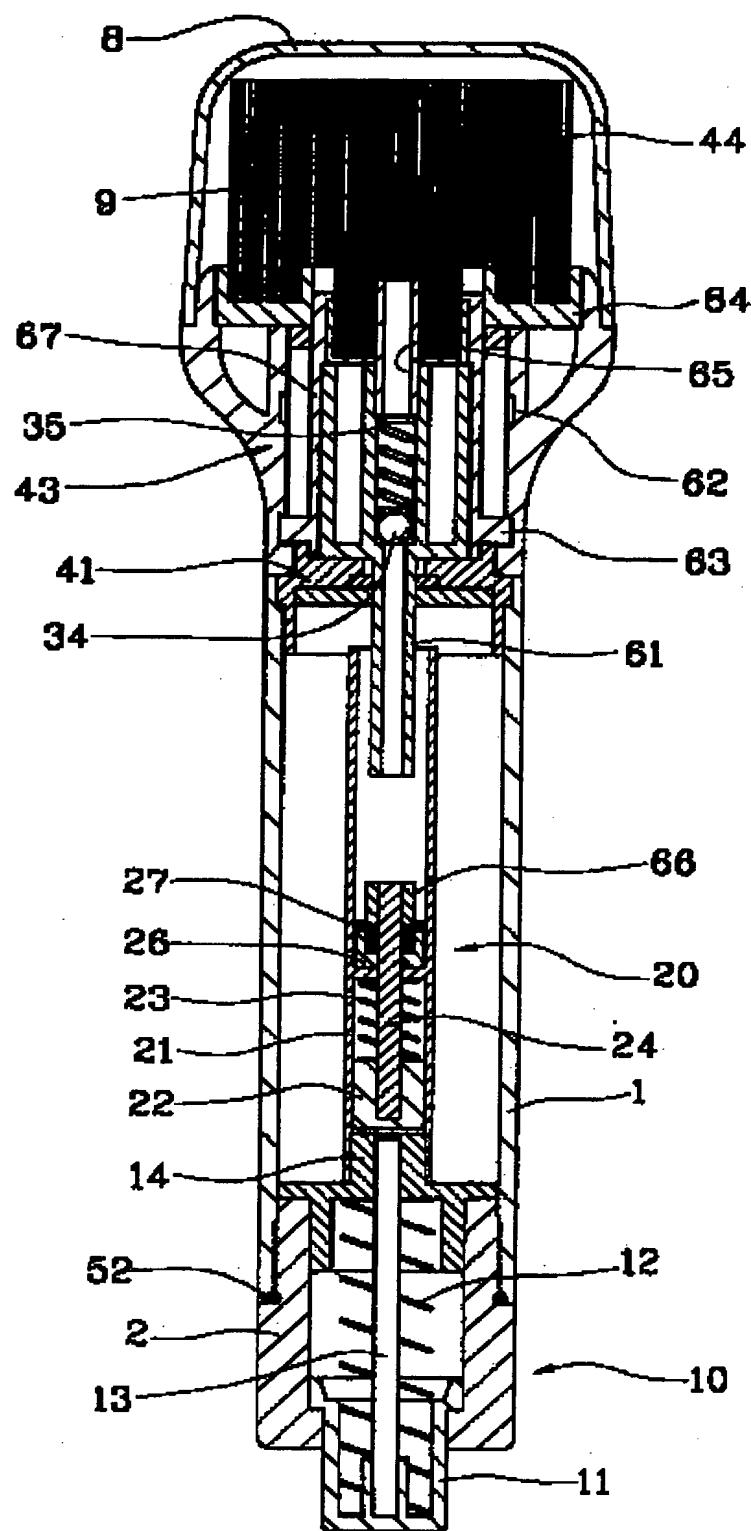
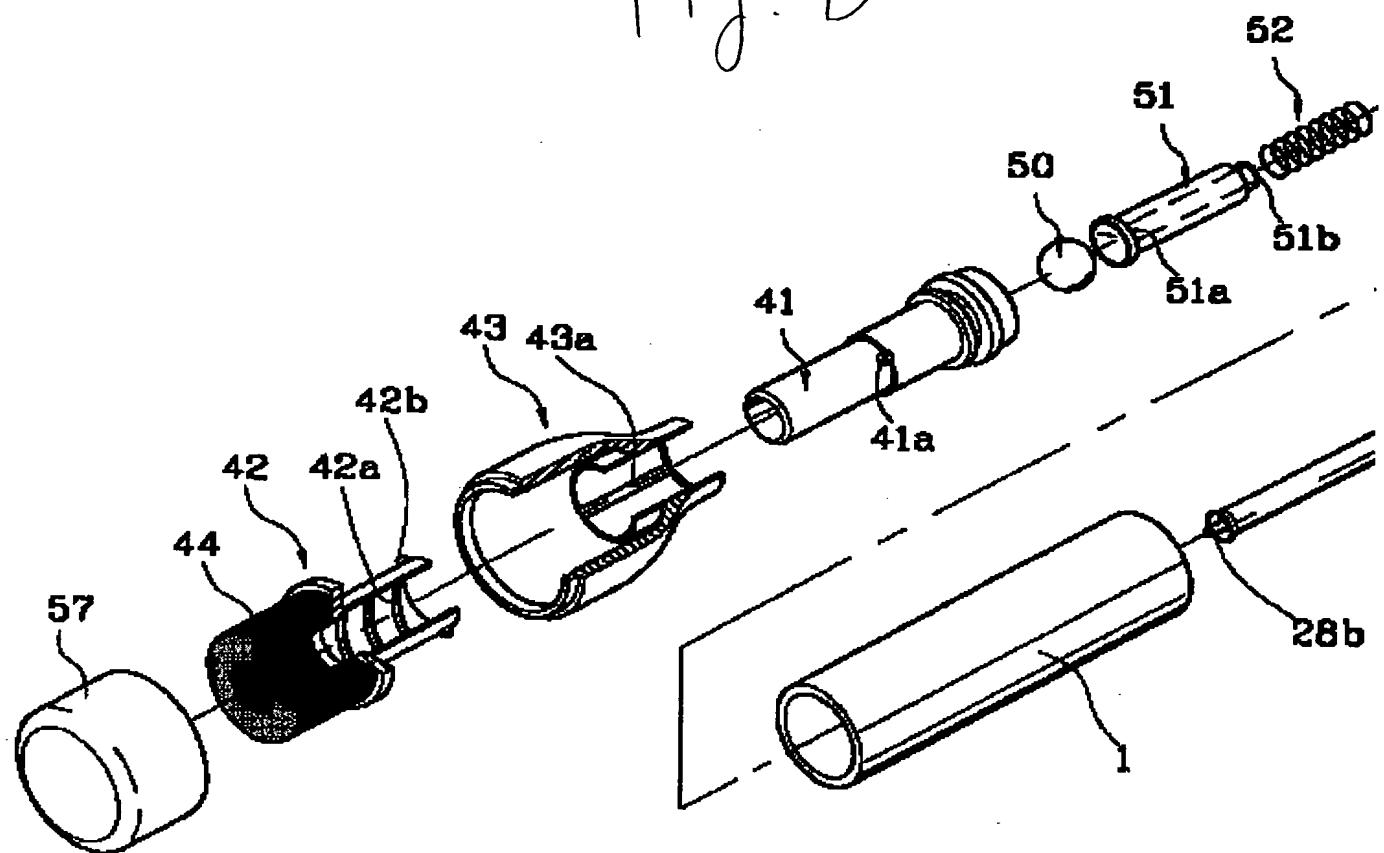


Fig. 5



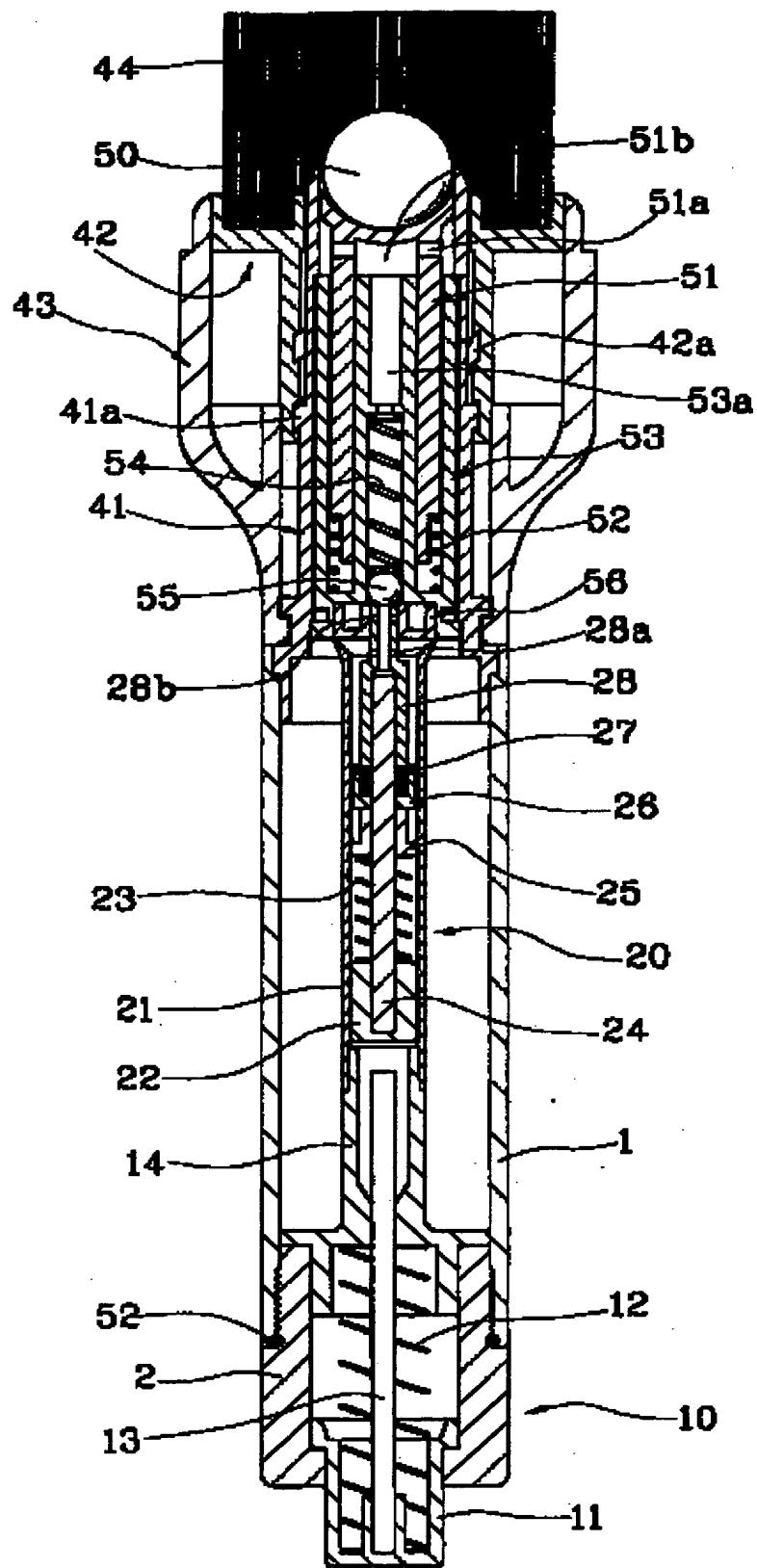


Fig. 8

Fig. 9

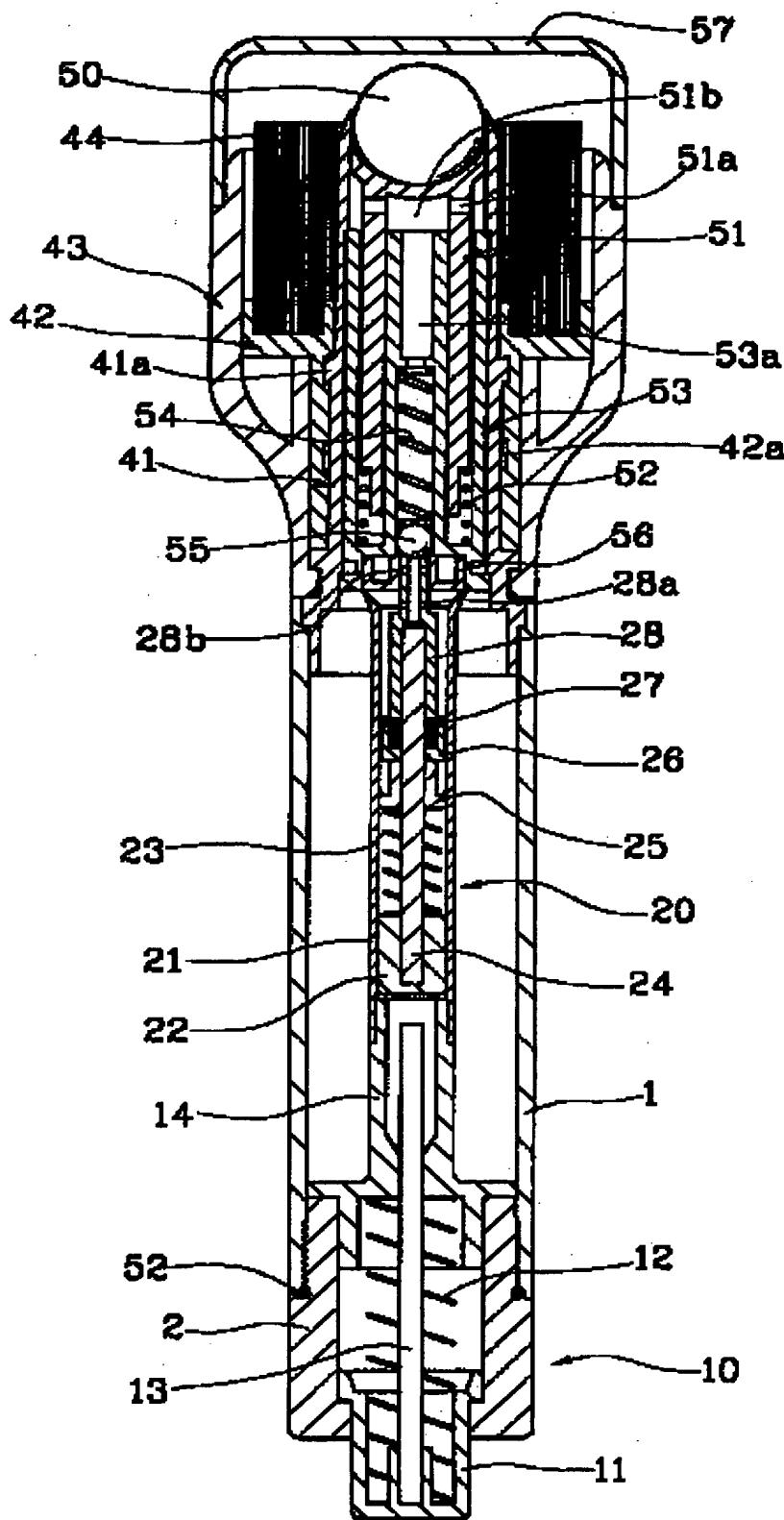


Fig. 9

Fig. 10

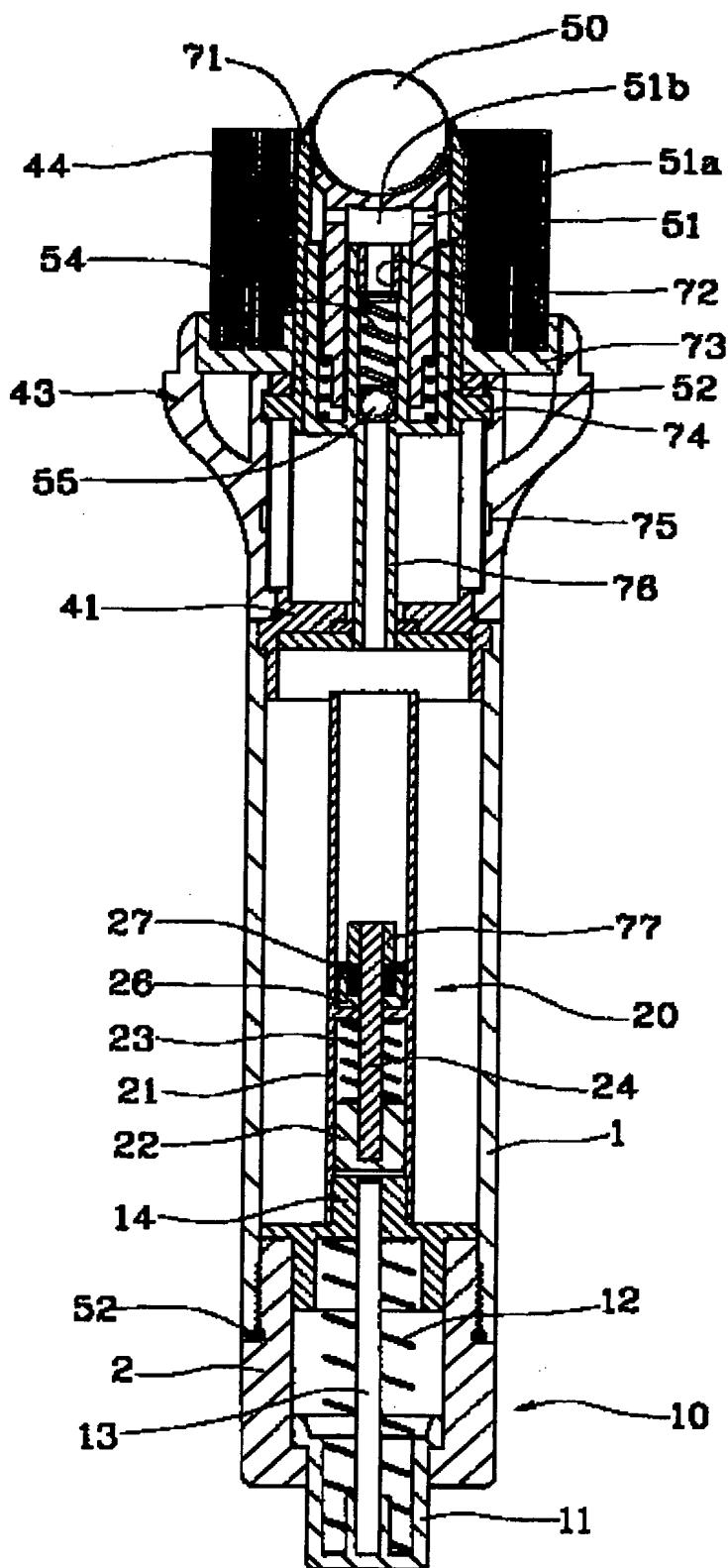


Fig. 10

Fig. 11

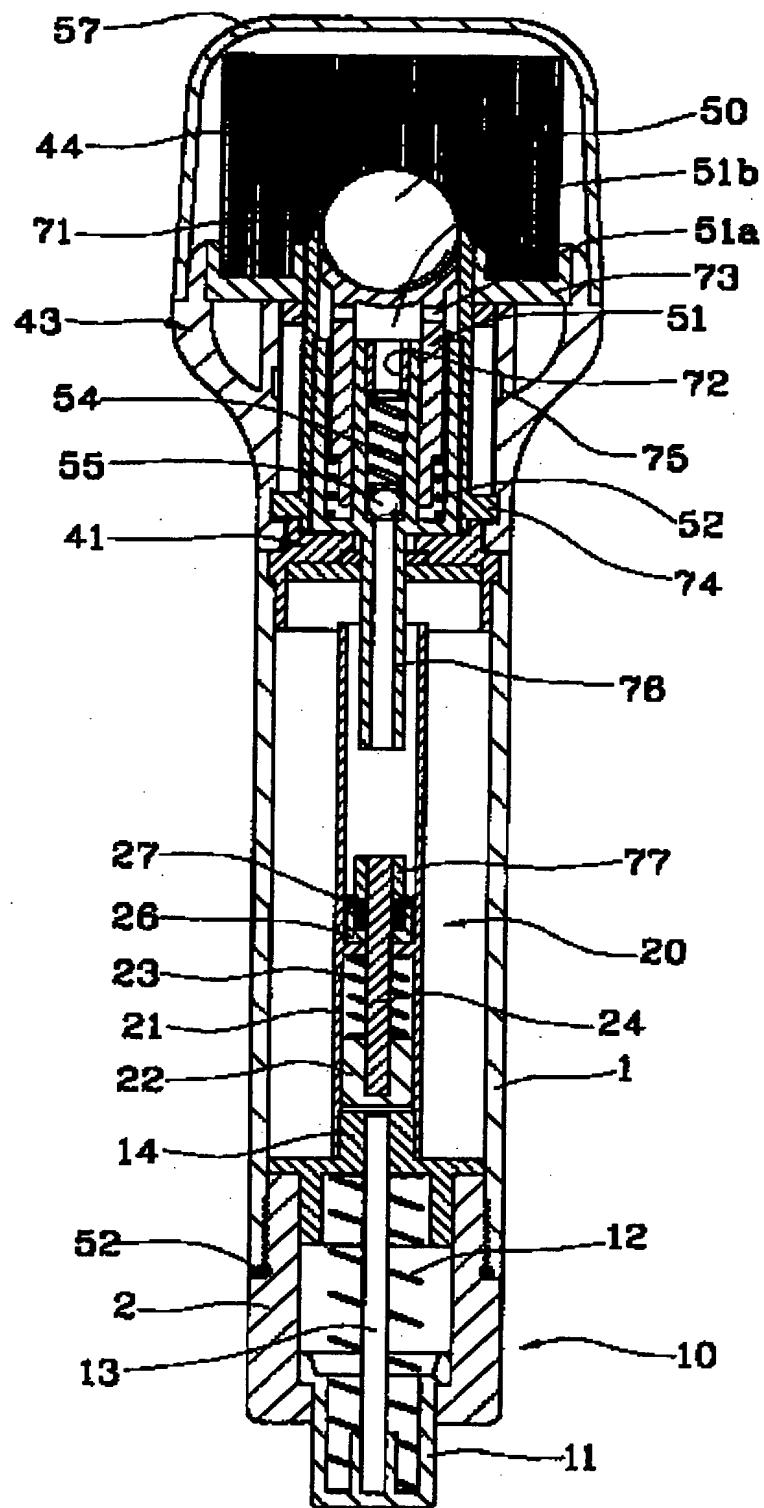


Fig. 12